

「科学技術に関する特別世論調査」の概要

平成17年 6月
内閣府政府広報室

- 調査対象 全国20歳以上の者3,000人
有効回収数：2,105人(70.2%)
調査期間 平成17年5月12日～5月22日
- 調査目的 科学技術に関する国民の意識を調査し、今後の施策の参考とする。
- 調査項目 (1) 日本の将来や次世代の発展への科学技術の貢献度
(2) 科学技術への政府の財政的な支援を充実すべきか
(3) 科学技術への支援に当たり重視すべき点
(4) 基本計画に具体的な目標を設定することについて
(5) 科学技術政策への国民の参画方法

<お願い>

本資料の内容を引用された場合、その掲載部分の写しを
下記宛にご送付ください。

内閣府大臣官房政府広報室
世論調査担当

〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1
電話 03(5253)2111 内線 82780～82783

「科学技術に関する特別世論調査」の要旨

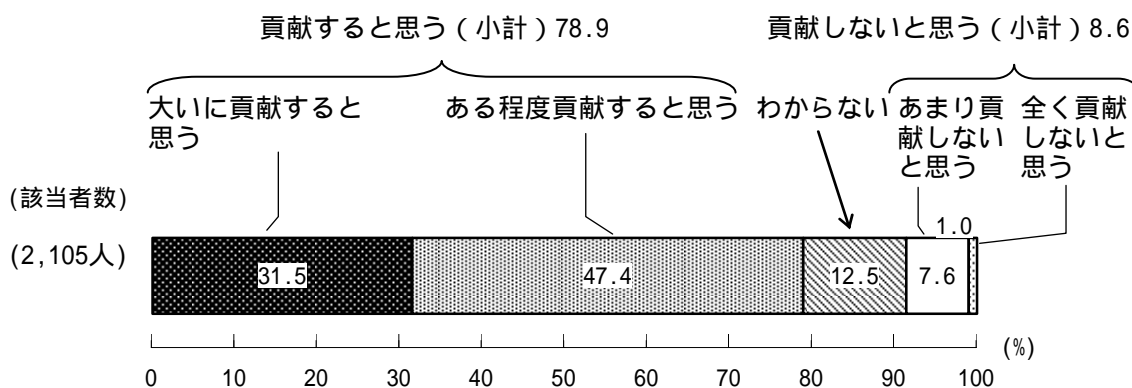
平成17年 6月
内閣府政府広報室

調査時期：平成17年5月12日から平成17年5月22日
調査対象：全国20歳以上の者3,000人
回収結果：2,105人(70.2%)

平成17年5月

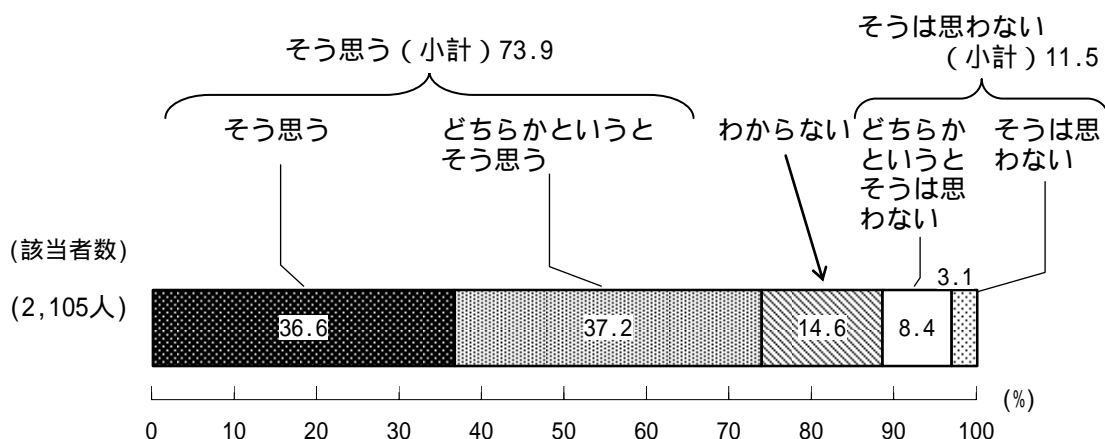
1 日本の将来や次世代の発展への科学技術の貢献度

- ・大いに貢献すると思う 31.5%
- ・ある程度貢献すると思う 47.4%
- ・あまり貢献しないと思う 7.6%
- ・全く貢献しないと思う 1.0%
- ・わからない 12.5%



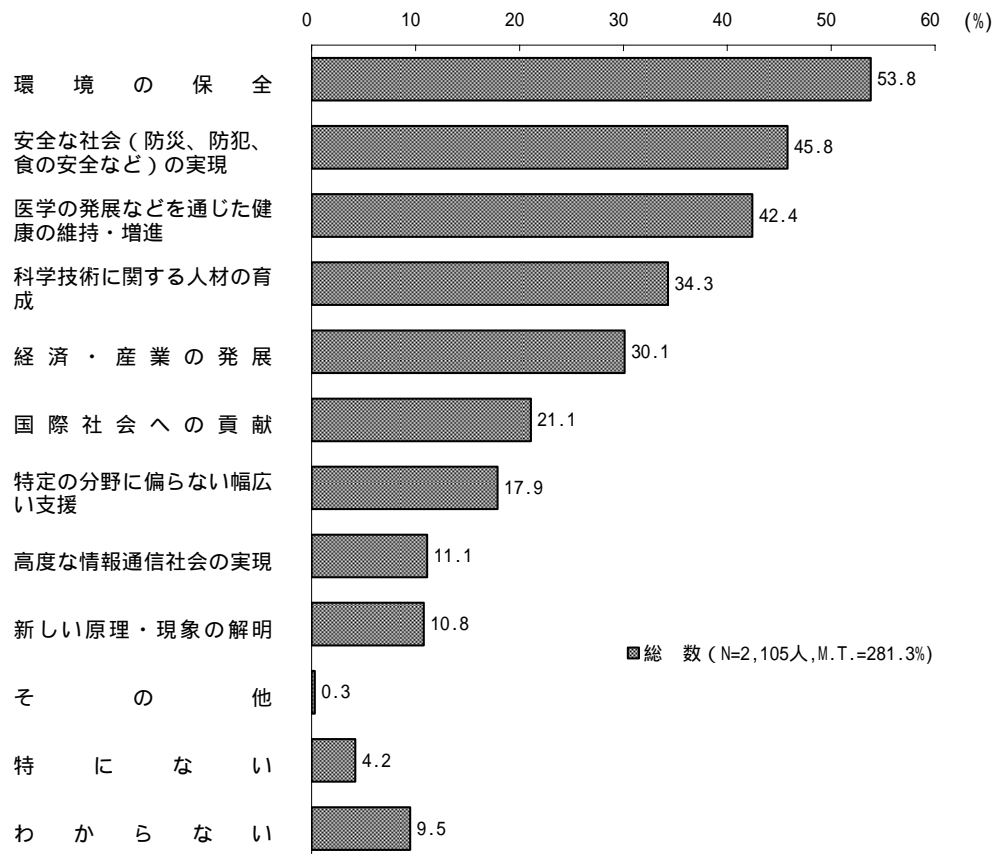
2 科学技術への政府の財政的な支援を充実すべきか

- ・そう思う 36.6%
- ・どちらかというと思う 37.2%
- ・どちらかというとは思わない 8.4%
- ・そうは思わない 3.1%
- ・わからない 14.6%



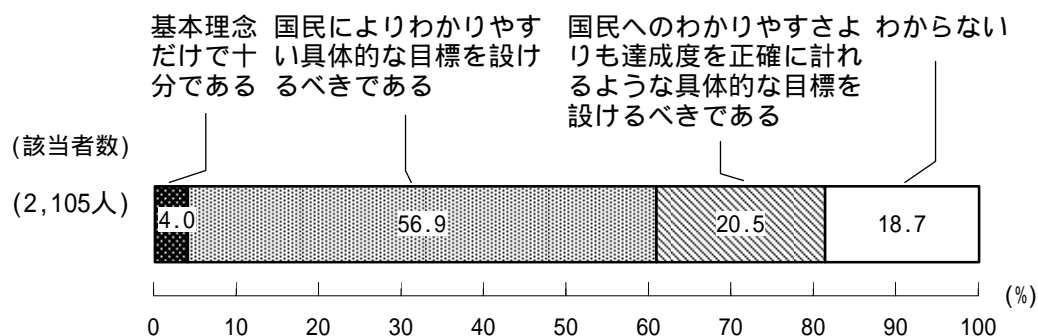
3 科学技術への支援に当たり重視すべき点（複数回答）

- ・環境の保全 53.8%
- ・安全な社会（防災，防犯，食の安全など）の実現 45.8%
- ・医学の発展などを通じた健康の維持・増進 42.4%
- ・科学技術に関する人材の育成 34.3%



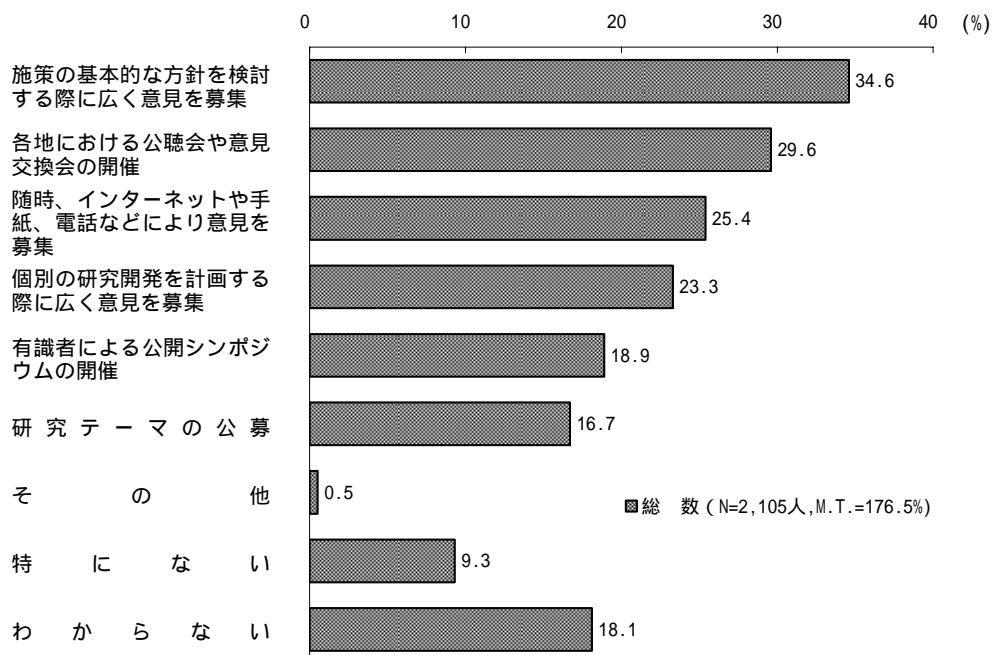
4 基本計画に具体的な目標を設定することについて

- ・基本理念だけで十分である 4.0%
- ・国民によりわかりやすい具体的な目標を設けるべきである 56.9%
- ・国民へのわかりやすさよりも達成度を正確に計れるような具体的な目標を設けるべきである 20.5%
- ・わからない 18.7%



5 科学技術政策への国民の参画方法（複数回答）

- ・ 施策の基本的な方針を検討する際に広く意見を募集 34.6%
- ・ 各地における公聴会や意見交換会の開催 29.6%
- ・ 随時、インターネットや手紙、電話などにより意見を募集 25.4%
- ・ 個別の研究開発を計画する際に広く意見を募集 23.3%



科学技術に関する特別世論調査

調査時期：平成 17 年 5 月 12 日から平成 17 年 5 月 22 日
調査対象：全国 20 歳以上の者 3,000 人
回収結果：2,105 人（70.2%）

平成 17 年 6 月

話は変わりますが、次に時事問題として「科学技術」についてお伺いします。

〔参考資料をよく読んでもらってから質問する〕

【参考資料】

科学技術は、国の活力や豊かな社会を生み出す重要な要素であることから、政府は「科学技術基本計画」を定め、大学や公的研究機関などにおける研究開発の取り組みや人材の育成・施設の整備などを支援し、科学技術の振興に努めています。

また、現在、政府では、平成 18 年以降の計画である第 3 期科学技術基本計画の策定作業を進めているところです。

政府が支援している科学技術の例

- ・携帯電話などにも使われている電気を通すプラスチックなど新しい素材の研究
- ・世界最高レベルの精度で地球温暖化を予測する計算技術の開発
- ・食品の安全と信頼のための有害物質の検出技術、品種や産地を判別する技術の開発
- ・地震被害を減らすための破壊メカニズムの解明や耐震効果の検証
- ・ガンの新しい治療法の研究
- ・環境を汚染せず、エネルギー効率も高い燃料電池の開発

等

（参考）第 2 期科学技術基本計画（平成 13 年～17 年）の概要

科学技術が目指すべき基本的な方向として、次のような **3 つの基本理念** を設けている。

知の創造と活用により世界に貢献できる国の実現

新しい知の創造

国際競争力があり持続的発展ができる国の実現

知による活力の創出

安心・安全で質の高い生活のできる国の実現

知による豊かな社会の創生

上記「基本理念」の下、以下のような施策により科学技術の振興を図る。

科学技術の戦略的重点化

・基礎研究の推進

・研究開発の重点化

ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノ

テクノロジー・材料

科学技術活動の国際化の推進

研究開発の仕組みの改善や人材の育成

等

Q 1 〔回答票 27〕あなたは、生活の豊かさ、経済の発展、環境の保全など、日本の将来や次世代の発展のために、科学技術はどのくらい貢献すると思いますか。この中から1つだけお答えください。

- (31.5) (ア) 大いに貢献すると思う (1.0) (エ) 全く貢献しないと思う
(47.4) (イ) ある程度貢献すると思う (12.5) わからない
(7.6) (ウ) あまり貢献しないと思う

Q 2 〔回答票 28〕あなたは、現在及び将来の日本の経済や国民生活への影響を考えた場合に、科学技術への政府の財政的な支援を充実すべきだと思いますか。この中から1つだけお答えください。

- (36.6) (ア) そう思う (3.1) (エ) そうは思わない
(37.2) (イ) どちらかというと思う (14.6) わからない
(8.4) (ウ) どちらかというとは思わない

Q 3 〔回答票 29〕あなたは、政府が科学技術への支援を行う場合に、特にどのような点を重視すべきだと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

- (10.8) (ア) 新しい原理・現象の解明
(21.1) (イ) 国際社会への貢献
(34.3) (ウ) 科学技術に関する人材の育成
(30.1) (エ) 経済・産業の発展
(53.8) (オ) 環境の保全
(45.8) (カ) 安全な社会(防災、防犯、食の安全など)の実現
(42.4) (キ) 医学の発展などを通じた健康の維持・増進
(11.1) (ク) 高度な情報通信社会の実現
(17.9) (ケ) 特定の分野に偏らない幅広い支援
(0.3) その他()
(4.2) 特になし
(9.5) わからない

(M.T. = 281.3)

Q 4 〔回答票 30〕現在の「第2期科学技術基本計画」では、科学技術が目指すべき基本的な方向として「3つの基本理念」を掲げています。

次期の基本計画においては、「知による活力の創出」などの基本理念に加え、「地球温暖化問題の克服」など、より具体的な目標を設けるべきだという考えがあります。あなたは、このことについてどう思いますか。この中から1つだけお答えください。

- (4.0) (ア) 基本理念だけで十分である
(56.9) (イ) 国民によりわかりやすい具体的な目標を設けるべきである
(20.5) (ウ) 国民へのわかりやすさよりも達成度を正確に計れるような具体的な目標を設けるべきである
(18.7) わからない

Q 5 〔回答票 31〕 科学技術に関する政策の形成には、国民自身の参画がより一層必要になってくるという考えがありますが、あなたは、国や行政機関がどのような取組により国民の参加を得ていくことが望ましいと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

- (34.6) (ア) 施策の基本的な方針を検討する際に広く意見を募集
- (23.3) (イ) 個別の研究開発を計画する際に広く意見を募集
- (16.7) (ウ) 研究テーマの公募
- (25.4) (エ) 随時、インターネットや手紙、電話などにより意見を募集
- (29.6) (オ) 各地における公聴会や意見交換会の開催
- (18.9) (カ) 有識者による公開シンポジウムの開催
- (0.5) その他()
- (9.3) 特にない
- (18.1) わからない (M.T. = 176.5)